

TOYOTA

ウィーンの魔法に
身をゆだねて

ウィーン・プレミアム・コンサート

特別協力:ウィーン国立歌劇場

名誉監督:ウィーン国立歌劇場総監督ボグダン・ロシュッチ

管弦楽:トヨタ・マスター・プレイヤーズ,ウィーン

2024年3月28日(木)~4月7日(日)

プログラム A2	東京	3月28日(木)	19:00開演(18:15開場)	東京オペラシティ コンサートホール
プログラム A2	松本	3月30日(土)	14:00開演(13:15開場)	キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館) 大ホール
プログラム A1	豊田	3月31日(日)	14:00開演(13:15開場)	豊田市コンサートホール
プログラム B	名古屋	4月 3日(水)	19:00開演(18:00開場)	愛知県芸術劇場コンサートホール
プログラム A1	福岡	4月 4日(木)	19:00開演(18:15開場)	アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
プログラム A2	札幌	4月 5日(金)	19:00開演(18:15開場)	札幌コンサートホール Kitara 大ホール
プログラム A2	仙台	4月 6日(土)	17:00開演(16:15開場)	東京エレクトロンホール宮城 大ホール
プログラム A1	東京	4月 7日(日)	16:30開演(15:45開場)	サントリーホール 大ホール

WIEN PREMIUM CONCERT 2024

ウィーン・プレミアム・コンサート

Press Release

公演概要

■名称	ウィーン・プレミアム・コンサート
■クレジット	主催:トヨタ自動車株式会社、トヨタグループ 共催:北海道新聞社(札幌公演)、河北新報社(仙台公演)、 長野朝日放送・キッセイ文化ホール(一般財団法人長野県文化振興事業団)(松本公演)、 中日新聞社(豊田・名古屋公演)、公益財団法人豊田市文化振興財団・豊田市(豊田公演)、 西日本新聞社(福岡公演)、名古屋フィルハーモニー交響楽団(名古屋公演) 協力:トヨタ販売店グループ 後援:オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京、オーストリア政府観光局、 CBCテレビ(豊田・名古屋公演)
■日程・会場	(プログラムA1) 豊 田:3月31日(日)14:00開演(13:15開場)豊田市コンサートホール 福 岡:4月4日(木)19:00開演(18:15開場)アクロス福岡 福岡シンフォニーホール 東 京:4月7日(日)16:30開演(15:45開場)サントリーホール 大ホール (プログラムA2) 東 京:3月28日(木)19:00開演(18:15開場)東京オペラシティ コンサートホール 松 本:3月30日(土)14:00開演(13:15開場)キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館) 大ホール 札 幌:4月5日(金)19:00開演(18:15開場)札幌コンサートホール Kitara 大ホール 仙 台:4月6日(土)17:00開演(16:15開場)東京エレクトロンホール宮城 大ホール (プログラムB) 名古屋:4月3日(水)19:00開演(18:00開場)愛知県芸術劇場コンサートホール
■演奏	管弦楽:トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン(30名の指揮者なし室内オーケストラ) 特別協力:ウィーン国立歌劇場 名誉監督:ウィーン国立歌劇場総監督ボグダン・ロシュチッチ 芸術監督:フォルクハルト・シュトイデ(ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)
■出演・曲目・ 入場料	(プログラムA1・A2) 黄金のホールに響く音色をあなたに 出演: トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン、 フルート/エルヴィン・クランバウアー(プログラム A1)、ピアノ/小菅優(プログラム A2) 曲目: モーツァルト/セレナード 第13番 ト長調「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 K.525 /フルート協奏曲 第1番 ト長調 K.313 (フルート独奏/エルヴィン・クランバウアー) /ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K.595 (ピアノ独奏/小菅 優) J.シュトラウスⅡ世/喜歌劇「ジプシー男爵」序曲 /ワルツ「千夜一夜物語」 Op.346 /ワルツ「我が家で」 Op.361 /ポルカ・シュネル「インドの舞姫」 Op.351 ヨーゼフ・シュトラウス/ポルカ・シュネル「前へ！」 Op.127 /ポルカ・マズルカ「遠方から」 Op.270 E.シュトラウス/ポルカ・シュネル「誰と一緒に踊る？」 Op.251 J.ランナー/ワルツ「求婚者たち」 Op.103

	<p>入場料: 全席指定(税込):SS席11,000円(サントリーホール公演のみ)/ S席9,000円/A席7,000円/B席5,500円/A席ハッピーシート2,500円/B席ハッピーシート2,000円 ◎ハッピーシートは、22歳以下(公演当日)の方対象。当日、年齢のわかる身分証をご持参ください。</p> <p>(プログラムB) 幻想、夢、そして冒険の世界へ</p> <p>出演: 第1部 トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン 第2部 トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン&名古屋フィルハーモニー交響楽団、 指揮/下野竜也、チェロ/ペーテル・ソモダリ、ヴィオラ/エルマー・ランダラー</p> <p>曲目: 第1部 モーツァルト/フルート協奏曲 第1番 ト長調 K.313 (フルート独奏/エルヴィン・クランバウアー) 第2部 R.シュトラウス/交響詩「死と変容」 Op.24 /交響詩「ドン・キホーテ」 Op.35 (チェロ独奏/ペーテル・ソモダリ、ヴィオラ独奏/エルマー・ランダラー)</p> <p>入場料: 全席指定(税込):S席9,500円/A席7,500円/B席5,500円/ A席ハッピーシート2,500円/B席ハッピーシート2,000円 ◎ハッピーシートは、22歳以下(公演当日)の方対象。当日、年齢のわかる身分証をご持参ください。</p>
<p>■チケット 発売日</p>	<p>2023年12月16日(土)10:00～ 一般発売</p>
<p>■チケット 取扱い</p>	<p>チケットぴあ https://w.pia.jp/t/tmp/ イープラス https://eplus.jp/tmp/ ほか各地プレイガイドで受付</p>
<p>■お問合せ</p>	<p>《東京》ウィーン・プレミアム・コンサート事務局 03-5210-7555 《札幌》道新プレイガイド 0570-00-3871 《仙台》河北新報社 事業部 022-211-1332 《松本》オフィス・マユ 026-226-1001 《豊田・名古屋》中日新聞コンサートデスク 052-678-5323 《福岡》西日本新聞イベントサービス 092-711-5491</p>

次世代プログラム

トヨタは次代を担う若者を応援しています

ウィーン・プレミアム・コンサートの本公演に加えて、次代を担う青少年の方々や音楽を学んでいる方に「世界最高レベルの音楽に触れてほしい」との思いから、その魅力を身近に感じていただくプログラムを実施。

① 青少年の皆さんの手に届きやすい価格のお席「ハッピーシート」をご用意！！

22歳以下の方を対象に提供、全8公演で販売。

今回よりA席での取り扱いも追加し、

より多くの青少年の皆さんへ、より良い音楽を届けます。



② 音楽づくりの過程を体験する「公開リハーサル」へご招待！！

ウィーン・プレミアム・コンサートのリハーサルに、中学生以上～22歳以下の方を600名様ご招待。

コンサート直前のリハーサルは、音楽づくりの最終的な仕上げを行う貴重な時間。

世界最高の演奏に向けて、メンバーが妥協せず細かな表現にまで拘る姿をご覧ください。

楽器経験者や音楽を学んでいる方の団体申込も受け付けます。

【日時・会場】

3月31日(日)豊田市コンサートホール 11:00 開始予定

【対象】

中学生以上～22歳以下の方

※中・高校生の場合は、1名につき保護者1名まで付添可。

【募集期間】

2024年1月20日(土)～2月29日(木)

【応募方法】

ウィーン・プレミアム・コンサート オフィシャル・ウェブサイト 次世代プログラムのページよりご応募ください。

「公開リハーサル」の団体(10名以上)申込は、お電話(03-5210-7555)のみでの受付となります。



③ 感動をお届けする「ふれあいコンサート」を実施！！

小学校・中学校・高等学校や特別支援学校などで開催するふれあいコンサート。

今回はメンバーが茅野市に訪問します。

音楽を通じた心の交流をはかり、若い世代の大きな思い出づくりに貢献します。

【開催日時・地域】

3月29日(金)茅野市

【訪問者】

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンのメンバー数名を予定



詳細は、オフィシャル・ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.toyota.co.jp/tomas/>

トヨタは、ウィーン・プレミアム・コンサートの他にも様々な社会貢献活動を実施しています。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/social-contribution/>

※本プログラムに関するお問合せ:ウィーン・プレミアム・コンサート事務局 03-5210-7555



管弦楽:トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン TOYOTA MASTER PLAYERS, WIEN

ウィーン国立歌劇場の協力を得て、本公演のために特別に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に、ヨーロッパで活躍するアーティスト仲間たちも加わった30名で編成されている。

《芸術監督》

フォルクハルト・シュトイデ★
(コンサートマスター)

《コントラバス》

ヨゼフ・ニーダーハマー
ミハエル・ブラーデラー★

《トランペット》

ステファン・ハイメル★
ゲルハルト・ベルンドル○

《ヴァイオリン》

ミラン・セテナ★
ラヘル・リリング
マリアン・ガスパー
アルヴァロ・パラ
シュケルツェン・ドリ★
アンドレアス・ノイフェルド
ミハエル・マチャシチック
ヴィルジニー・ピュスカイユ

《フルート》

エルヴィン・クランバウアー
マティアス・シュルツ-アイグナー○

《ティンパニ》

ミハエル・ヴラダー

★=ウィーン・フィルメンバー

○=ウィーン国立歌劇場メンバー

《オーボエ》

ヘルベルト・マデルターナー★
ベルンハルト・ハインリヒス

《ヴィオラ》

エルマー・ランダラー★
ペーター・サガイシュック
ローマン・ベルンハルト

《クラリネット》

ゲラルド・パッヒンガー
ペーター・ロイットナー

《ファゴット》

リハルト・ガラー
ビアンカ・シュースター

《チェロ》

ペーテル・ソモダリ★
エディソン・パシュコ★
エリック・ウメンホッフアー

《ホルン》

ロナルド・ヤネツィック★
ヤン・ヤンコヴィッチ★

プロフィール

■芸術監督・コンサートマスター



フォルクハルト・シュトイデ Volkhard Steude

〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター〉

1971年ライプツヒに生まれ、5歳よりヴァイオリンを始める。88年ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入学、ヨアヒム・ショルツ、ヴェルナー・ショルツ両教授に師事。大学在学中、エスタ国際ヴァイオリン・コンクール第4位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞を受賞する他、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第1コンサートマスターを務める等、オーケストラ奏者としても活躍。94年同大学卒業と同時にウィーンに留学、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者であるアルフレド・スター教授に師事。同年コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99年よりコンサートマスターを務めている。2002年には自らが主宰するシュトイデ弦楽四重奏団を結成する等、ソロや室内楽の多方面で活躍している。

■ソリスト



エルヴィン・クランバウアー Erwin Klambauer

〈ウィーン交響楽団ソロ・フルート〉(プログラム A1/B)

9歳よりリンツのブルックナー音楽院(現ブルックナー大学)にてフルートとピアノを始め、その後ウィーン国立音楽大学にてW.シュルツ氏に師事、1991年最優秀の成績で卒業。学生時代よりグスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、EU ユースオーケストラ、カメラータ・ザルツブルク等の首席奏者を歴任し、92年オーストリア連邦劇場管弦楽団に入団。93年ウィーン放送交響楽団のソロ・フルート奏者に就任し、数多くのテレビ、ラジオの収録やCDの録音を積極的に行っている。ソリストとしてヨーロッパ及びアメリカ、ロシア、中国、日本、韓国等世界各地で演奏活動を行う他、室内楽奏者としても活躍し、アンサンブル・コントラプント、ウィーン放送交響楽団木管五重奏団等のメンバーを務める。また世界各地でワークショップやマスタークラスを開催しており、ウィーン国立音楽大学やウィーン音楽院で教鞭を執る。2008年10月グラーツ音楽大学教授に就任、現在ウィーン交響楽団ソロ・フルート奏者を務める。



©Takehiro Goto

小菅 優 Yu Kosuge 〈ピアノ〉(プログラム A2)

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤らの指揮でBBC響やNDRエルプフィルと共演。10年ザルツブルク音楽祭でポゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、17年に第48回サントリー音楽賞受賞。録音は、ソニーから発売している『藤倉大:ピアノ協奏曲〈インパルス〉&WHIM/ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。17年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した他、様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」にも取り組む。23年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト“ソナタ・シリーズ”を始動。



ペーテル・ソモダリ Péter Somodari (プログラムB)

〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団/ウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ〉
1977年にヴェスプレーム(ハンガリー)に生まれる。4歳よりチェロを始める。
2005年マルクノイキルヘン国際コンクールにて優勝を飾る。室内楽奏者として、
C.テツラフ、L.カヴァコス、T.ツインマーマン、G.クルターク等多くの音楽家と共演。
ハンガリー国立歌劇場、ルツェルン交響楽団を経て、12年にウィーン国立歌劇場
及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに就任。
18年よりウィーン国立音楽大学客員教授を務めている。



エルマー・ランダラー Elmar Landerer (プログラムB)

〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉
1974年ザルツブルクに生まれる。
90年グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団及びEUユース・オーケストラに入団。
96年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。
また、99年よりウィーン・フィルハーモニア・トリオ、ベルヴェデーレ・トリオ、
2000年よりウィーン・ヴィルトゥオーゼン、02年よりシュトイデ弦楽四重奏団等の
メンバーを務めている。

■指揮



©Naoya Yamaguchi

下野 竜也 Tatsuya Shimono (プログラムB)

広島交響楽団音楽総監督(2024年4月～桂冠指揮者)、広島ウインドオーケストラ音楽
監督、NHK交響楽団正指揮者。24年4月、札幌交響楽団首席客演指揮者に就任
予定。鹿児島生まれ。00年東京国際音楽コンクール、01年ブザンソン国際指揮者
コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、
バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。これまでに読売日本交響楽団正指揮
者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者を歴任。京都市立芸術
大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。齋藤秀雄メモリアル

基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、有馬賞、広島市民賞など受賞多数。

NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

■管弦楽



名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra (プログラムB)

愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードする
プロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した
演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名(めい)フィル”の愛称で
親しまれている。2023年4月川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。
他に現在の指揮者陣には、小泉和裕(名誉音楽監督)、
小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、

ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。23年4月小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年7月10日。現在はバラエティに富んだ年間100ほどの演奏会に出演。

ウィーン・プレミアム・コンサート これまでの実績

本公演:

これまでに計 132 公演を開催し、来場者数は 21 万名様を超えています。

2000年:全国8都市10公演/18,900名	2002年:全国8都市11公演/23,600名
2004年:全国6都市7公演/12,300名	2005年:全国5都市6公演/10,300名
2006年:全国5都市7公演/12,200名	2007年:全国5都市7公演/12,300名
2008年:全国5都市7公演/12,300名	2009年:全国6都市8公演/13,300名
2010年:全国5都市5公演/8,300名	2012年:全国7都市7公演/10,500名
2013年:全国7都市7公演/11,000名	2014年:全国7都市7公演/10,700名
2015年:全国6都市6公演/9,200名	2016年:全国7都市7公演/11,000名
2017年:全国6都市6公演/8,500名	2018年:全国7都市8公演/11,000名
2019年:全国7都市8公演/11,000名	2023年:全国7都市8公演/10,600名

次世代プログラム:

青少年の方々をコンサートへご招待する「ウェルカム・シート」

これまでに計 83 公演で実施し、およそ 6,670 名様(引率者を含む)にご来場いただきました。

2007年:全国7公演/640名	2008年:全国7公演/610名	2009年:全国8公演/780名
2010年:全国5公演/460名	2012年:全国7公演/700名	2013年:全国7公演/670名
2014年:全国7公演/650名	2015年:全国6公演/450名	2016年:全国7公演/480名
2017年:全国6公演/440名	2018年:全国8公演/420名	2019年:全国8公演/370名

音楽づくりの過程を体験する「公開リハーサル」

これまでに計 36 公演で実施し、およそ 10,090 名様(引率者を含む)にご来場いただきました。

2007年:2公演(東京・名古屋)/460名	2008年:3公演(札幌・東京・名古屋)/810名
2009年:4公演(仙台・東京・名古屋・福岡)/970名	2010年:3公演(仙台・名古屋・福岡)/850名
2012年:3公演(札幌・東京・名古屋)/750名	2013年:3公演(名古屋・大阪・福岡)/860名
2014年:3公演(仙台・名古屋・福岡)/600名	2015年:3公演(名古屋・仙台・東京)/960名
2016年:3公演(盛岡・仙台・名古屋)/1,090名	2017年:3公演(大阪・東京・名古屋)/380名
2018年:3公演(福岡・盛岡・名古屋)/1,290名	2019年:3公演(福岡・豊田・名古屋)/1,070名

感動をお届けする「ふれあいコンサート」

これまでに東京都内や愛知・三重・岐阜県内の学校や特別支援学校の計 69 校に訪問する他、

2012 年より岩手県内や宮城県内の学校や地域の公共文化施設の計 12 ヶ所にお伺いし、

およそ 28,690 名様(保護者や地域の方を含む)にコンサートをお届けしました。

2007年:3ヶ所(東京2・東海1)/750名	2008年:4ヶ所(東京2・東海2)/1,450名
2009年:4ヶ所(東京2・東海2)/1,780名	2010年:6ヶ所(東京2・東海4)/3,350名
2012年:8ヶ所(岩手1・宮城1・東京4・東海2)/3,250名	2013年:6ヶ所(岩手1・宮城1・東京2・東海2)/2,280名
2014年:8ヶ所(岩手1・宮城1・東京4・東海2)/3,000名	2015年:6ヶ所(岩手1・宮城1・東京2・東海2)/2,570名
2016年:6ヶ所(岩手1・宮城1・東京2・東海2)/2,750名	2017年:6ヶ所(岩手1・宮城1・東京2・東海2)/2,760名
2018年:4ヶ所(東京2・東海2)/1,490名 ※東北2県は交通事情により中止	
2019年:6ヶ所(福岡2・東海2・岩手1・宮城1)/2,360名	
2023年:2ヶ所(熊本2)/900名	